



岡部株式会社

CDP「気候変動」「水セキュリティ」で「B」評価を獲得

建設関連製品事業や海洋事業等を展開する岡部株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役 社長執行役員：河瀬博英）は、CDP※¹より、「気候変動」及び「水セキュリティ」の両分野において、「B」評価を獲得しました。



当社グループは、「安全・安心の提供を通じて社会に貢献する」という経営理念のもと、「気候変動、地球温暖化」及び「環境保全、脱炭素、資源循環の実現」をマテリアリティの一つとして特定し、サステナビリティ経営を推進しています。

気候変動については、温室効果ガス（GHG）排出量削減目標として、2030 年度「Scope1+2 50%削減、Scope3（カテゴリ1+4） 25%削減」（2022 年度比）を掲げています。この目標は、2023 年 10 月に国際的なイニシアチブである「SBTi（Science Based Targets Initiative）※²」の認定を取得しており、現在、本目標達成に向けて取組みを強化しています。また情報開示については、2021 年 12 月に気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同を表明し、それ以降 TCFD のフレームワークに基づいたシナリオ分析と情報開示を進めています。

今回の評価結果は、当社の環境への取組みと情報開示が評価されたものです。今後もカーボンニュートラル社会の実現に向け、環境負荷低減への取組みをさらに推進してまいります。

※1 CDP は、環境情報開示システムの運営等を行う国際的な非営利団体です。環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家や主要購買組織の要請に基づき、企業や自治体に、気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に関して情報開示を求め、その内容を A から D-スコアの 8 段階で分析・評価しています。

※2 SBTi は、2015 年に CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）によって共同設立された国際的なイニシアチブであり、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標が、科学的根拠に基づいて世界の気温上昇を 1.5℃未満に抑えるための目標となっているかを検証し、基準を満たす目標に対して認定を行っています。

（関連）

マテリアリティ : <https://www.okabe.co.jp/sustainability/materiality-analysis/>

脱炭素社会の実現に向けた取組み : <https://www.okabe.co.jp/sustainability/environment02/>

TCFD 提言に基づく情報開示 : <https://www.okabe.co.jp/sustainability/environment03/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉 [岡部株式会社](#) サステナビリティ推進室

TEL: 03-3623-6136

MAIL: a008@okabe.co.jp